

災害多発分野におけるリスクマネジメント技術の高度化と実用化に関する研究

Research for Advancing Risk Management and Its Application on Industries with High Frequency and Severity Rates of Accident

高木 元也 人間工学・リスク管理研究グループ
梅崎 重夫 清水 尚憲 機械システム安全研究グループ
島田 行恭 化学安全研究グループ
濱島 京子 電気安全研究グループ

■ TAKAGI Motoya

UMEZAKI Shigeo, SHIMIZU Shoken

SHIMADA Yukiyasu

HAMAJIMA Kyoko

本研究では、労働災害の更なる減少を図るため、災害多発分野である建設、機械、化学を対象に、事業場のリスクマネジメント手法の高度化、実用化を目的とした研究を行った。産業界との連携等により各分野の産業特性を踏まえた効果的なリスク低減手法を構築した。具体的には、労務集約型産業である建設業では設備面のリスク低減措置とそれを補完する作業教育を取り上げ、装置型産業の主役となる機械分野では取扱う機械のリスク定量化と保護方策の適用を重視した。一方、化学プロセス分野では労働安全衛生マネジメントシステムの構築と運用の参考になる安全管理業務の見える化と具体的な業務の事例の整理を行った。このような多様な産業特性を踏まえ、リスク低減手法の構築・普及を行い、さらにはこれら3分野の産業横断的研究により、労働災害防止の新しい視点を導き出した。

1 研究の必要性

労働安全衛生マネジメントシステム、リスクアセスメント手法が導入期から定着期に移行しつつあるものの、事業者が事業場内の多様なリスクを科学的・体系的に評価・低減する手法は十分に確立されているとはいえない。今後、中小企業者等事業者の自主的な安全活動を推進するためには、多様な産業特性を踏まえた、科学的・体系的にリスクを評価・低減する手法の構築が必要である。

2 研究の概要

災害多発分野の建設、化学、機械を対象に、これら分野の産業特性に応じたリスクマネジメント手法の高度化、実用化を目的とした研究を行った。さらには労働災害防止の新しい視点を見出すため、これら3分野の産業横断的研究を加えた。それぞれの研究の概要を以下に示す。

(1) 建設: 中小建設業者を対象としたリスクマネジメント推進のためのアクションプログラムの策定と普及

わが国の建設業者数は約50万業者で、その99%以上は中小建設業者であることから、中小建設業者を対象に自主的な安全活動を推進させることが重要である。効果的な推進を図るためには、彼らの半分近くが建設産業団

体に所属し、また、建設産業団体は会員企業の安全活動支援に熱心なところが多いことから、建設産業団体との連携が有効である。そこで、主たる会員が中小ゼネコンの(社)全国建設業協会、および戸建等低層住宅建築工事を担う町場の工務店を傘下の会員にもつ(社)住宅生産団体連合会と連携を図り、建設産業界の実態・意向等を踏まえつつ、リスクマネジメント推進のための行動目標(目標例: 低層住宅建築工事における新築完工千棟当たり死傷者数を2.60以下に減少)、具体的方策を盛り込んだアクションプログラムを策定した。

具体的方策推進のため、建設現場における安全活動に関する各種実態調査、リスク適正評価に関する研究、中小建設業者のリスク適正評価支援のための労働災害データ分析等の調査・研究を行い、これら研究成果を書籍、小冊子、DVD等にまとめ、連携先との小冊子の共同出版、連携先主催の講習会等によりそれらの普及に努めた。

このうち、(社)住宅生産団体連合会と共同出版した小冊子「ヒューマンエラー防止対策ガイドブック」、および小冊子「高齢労働者のための安全ガイド」は、あわせて15,000冊以上の販売実績(H23.08末時点)があるなど、業界関係者の反響の大きさが伺える。これらは元請業者の現場監督、職長・作業員の安全教育に活用され、労働災害の更なる防止に役立つものとする。

(2) 機械: 機械作業におけるリスク定量化システムの開発と普及

災害の多発している機械作業で労働災害を大幅に減少させるには、リスクの高い作業から優先的に対策を実施するのが最も効果的である。しかし、現状では、リスクの定量化に主眼を置いた手法が機械安全分野では十分確立していないために、現場の安全管理者などの意志決定に困難を生じている。そこで、機械作業のリスク低減戦略を支える最重要技術として、主に機械設備を使用する製造業の現場を対象に、各機械または現場単位のリスクを事前に定量評価できる手法の確立を試みた。具体的には、次のような課題を対象に研究開発を進めた。

① リスクの定量化手法の検討

本研究で提案するリスク管理目標では、労働者一人あたりの死亡労働災害の発生確率を無災害レベルの 10^{-11} 回/h 未満に設定している。しかし、この目標値を達成する方法論は必ずしも明確でない。そこで、人間機械作業システムにおける危害の発生確率をマルコフ解析の利用によって定量的に推定できる評価式などを提案した。

② 機械リスク定量化システムの開発

上記①の結果を考慮し、次の機能を備えたリスク定量化システムを開発した。

- (a) 演繹的評価 前述したマルコフ解析によって危害の発生確率を定量的に推定する。
- (b) 帰納的評価 機械の種類ごとに過去に発生した労働災害の労働損失日数を集計し、機械ごとに危害の発生確率と重篤度を定量的に推定する(死亡、障害、休業)。
- (c) 簡易評価 リスクレベルを巨視的評価(I~III)と微視的評価(1~20)の組み合わせによって定量的に推定する。前者は設備対策、後者は管理的対策の効果を示す。

③ 安全設計支援システムの開発

以上の結果を基に、機械の設計・製造者が行う設備対策と機械の使用者が行う管理的対策の連携が必要な統合生産システム(IMS)を対象に、本研究で提案する4種類の総括表を埋めるだけで比較的容易に機械のリスクアセスメントを実施できる安全設計支援システムを開発した。このシステムでは保護方策区分やリスク管理区分などの新たな概念を提案することによって、ISO12100を補完する新たなリスク低減プロセスの達成を可能とした。

(3) 化学: 化学プロセスに対するリスクマネジメント技術の体系化と安全管理技術情報基盤の開発・普及

プロセス産業における事故災害防止を目的として化学プラントの事故災害防止のための安全管理業務の体系化と具体的な進め方について、以下の①~③を安全資料にまとめるとともに、④リスク管理支援システムを開発した。このうち、①~③は学会等講演会で紹介することにより普及活動を行っている。

① 安全運転管理業務プロセスモデルの構築

PDCA (Plan-Do-Check-Act) サイクルによる業務実施とそれぞれの業務に必要となる資源提供の関係を明示したモデリング用テンプレートを提案するとともに、化

学プラントの安全を考慮した運転管理のあるべき姿を表した業務プロセスの参照となるモデルを構築した。

② HSE (Health, Safety, and Environment) 管理業務の体系化

プラントライフサイクルにわたる HSE 管理業務の体系化について検討するとともに、HSE 管理に関する具体的な業務及び業務実施に必要な資源を整理した。

③ 製造現場での SQDC 工程管理表による安全管理業務の推進

製品の品質維持・向上など目的として従来から用いられている QC (Quality Control) 工程図に対して、SQDC (Safety, Quality, Delivery, Cost : 安全性、品質、生産性、コスト) の観点からの管理項目(作業)を加え、拡張した。これにより、通常の製造業務の枠組みの中で同時に事故・災害を防止する業務を行うとともに、品質、生産性を高め、その結果、コスト削減にも寄与するような SQDC 工程管理表作成とこれに基づく製造現場での安全管理業務の推進についてまとめた。

④ フォールトツリー (FT ; Fault Tree) 作成によるリスク管理支援システムの開発

HAZOP による安全性評価結果を基に要素機器の故障に関する情報、異常検知手段の有無と独立防御階層 (Independent Protection Layer ; IPL) の概念に従ったリスク低減対策立案に関する情報などを用いて FT を自動生成する。HAZOP で得られたハザードによる影響度に対して FT のトップ事象発生確率(ハザード発生頻度)を求め、リスク評価を行うとともに、リスク低減対策立案を支援するシステムを開発した。

(4) 産業横断的研究

事業場の現地調査(全13箇所)、中小企業対象の安全活動実態調査(有効回答数204)、実務経験者等で構成される検討会('09)等を実施し、産業横断的研究課題を産業共通の課題と特定産業の課題に分けて抽出した。具体的には、前者は①中小企業に対するリスクアセスメント導入支援、②施設・設備の老朽化に伴う安全問題への対応、③非定常作業の安全確保等全9項目、後者は①リスクアセスメント手法の導入(建設業)、②請負業者への指導(製造業)等全4項目を抽出した。

このうち後者②の課題を踏まえ、産業横断的研究成果として、近年多発している工場・プラント等の維持・修繕工事の労働災害の防止のため、建設業の請負業者指導ノウハウを活用した製造業向け請負業者の安全指導に関する資料を作成した。

3 今後の展開

今後は、産業界との連携を深め、本研究の研究成果の更なる普及に努めるとともに、安全に関する国際規格、労働安全衛生マネジメントシステム、リスクアセスメント手法などが円滑に定着されるための新たな課題を見つけ、研究によりその解決策を見出していきたい。

研究業績リスト

課題名：災害多発分野におけるリスクマネジメント技術の高度化と実用化に関する研究

平成23年度(2011年)		
1	原著論文	島田行恭, 北島禎二, 凌元錦(2011)化学プラントのフォールトツリー自動解析とリスク低減対策立案, 第7回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム(JCOSSAR 2011), (掲載決定)
2		高木元也(2011)中小企業の安全活動支援に関する産業横断的調査分析, 安全工学(投稿中)
3	研究所出版物	島田行恭(2011)生産業務と安全管理業務との協調による労働安全衛生マネジメントの推進, 労働安全衛生総合研究所安全資料, JNIOSSH-TD-No.1, 106p
4	国内外の研究集会発表	島田行恭(2011)運転業務プロセスモデルの構築と活用, 安全講演会, 化学工学会中国四国支部広島地区安全講演会
5		島田行恭, 北島禎二, 淵野哲郎, 尾藤清貴(2011)化学プロセス産業の製造現場におけるSQDC工程管理表による安全
6		島田行恭(2011) [展望講演] プロセス産業における安全管理の体系化の試み, 化学工学会第43回秋季大会, P121
7	総説ほか(査読有無を問わず)	島田行恭(2011)化学工学年鑑2011 (14.2 安全技術), 化学工学, Vol.75, No.10, (掲載決定)
8		高木元也(2011)低層住宅建築工事におけるヒューマンエラー防止対策, 安全工学, Vol.50, No.4 (掲載決定)
9	著書・単行本	高木元也(2011)ヒューマンエラー災害と対策 第1巻ヒューマンエラーの原因を知ろう! (DVD), 労働調査会
10		高木元也(2011)ヒューマンエラー災害と対策 第2巻ヒューマンエラーを防ごう! (DVD), 労働調査会
11	その他の専門家向け出版物	島田行恭(2011)化学プラントの運転業務プロセスモデル-モデル構築の概要と活用方法-, 配管技術, 工業調査会, Vol.53, No.8, p.48-54
12	その他(表彰/報道等)	高木元也(2011)住宅建築工事で高齢労働者の安全ガイド, 朝日新聞ネット配信, 2011年6月15日付
13		高木元也(2011)高齢労働者安全ガイド 身体能力低下を労使双方で認識, Builder Net, 2011年6月30日付
平成22年度(2010年)		
1	原著論文	梅崎重夫, 清水尚憲, 濱島京子 (2010)人間機械作業システムにおける危害の発生確率の定量的評価手法の提案-英国HSLが示したリスク管理目標の達成手法に関する考察-, 労働安全衛生研究誌, Vol.3, No.1, p.27-36
2		宮川高志, 梅崎重夫, 三平律雄(2010)安全に関する対投資効果の評価指標の提案, 日本機械学会論文集, Vol.76, No.770, C編
3		加部隆史, 門脇敏, 和田有司, 野田和俊, 天野久徳, 梅崎重夫(2010)爆発予防と防護の基本概念と方法論-機械安全の視点からの予防概念とその課題-, 安全工学, Vol.49, No.3, p.145-154
4	研究所出版物	高木元也(2010)低層住宅建築工事 高齢労働者のための安全ガイド, 社団法人住宅生産団体連合会との共同出版
5	国内外の研究集会発表	Takashi Miyakawa, Shigeo Umezaki and Ritsuo Mihira(2010)Study for Return on Investment by Safety Protection Measures, TENCON 2010, IEEE, USA
6		宮川高志, 梅崎重夫, 三平律雄(2010)安全に関わる対投資効果の算出手法の考察, 安全工学シンポジウム2010, p.250-253
7		Shimada, Kumasaki, Kitajima, Takeda, Fuchino and Naka (2010), Reference Model for Safety Conscious Production Management in Chemical Processes, 13th International Symposium on Loss Prevention and Safety Promotion in the Process Industries, Vol.1, p.629-632
8		島田行恭, 北島禎二, 武田和宏, 淵野哲郎, 仲勇治(2010)プロセス安全管理のための業務モデルの基本形, 安全工学シンポジウム2010, 6-4, p.394-397
9		島田行恭(2010)業務プロセスモデル構築に基づく論理的な安全管理の仕組み作り -業務の見える化を目指して-, (株)千代田アドバンスドソリューション, ChASフォーラム
10		凌元錦, 島田行恭, 北島禎二(2011) HAZOP解析情報を利用したフォールト・ツリーの自動生成, 化学工学会第76年会, P.207
11		高木元也(2010)建設業におけるリスクアセスメント導入期の課題と定着期に向けた改善策について, 2010安全工学シンポジウム, p.314-315

12		高木元也(2010)中小建設業者のリスク適正評価支援のための土木工事各種作業別等労働災害データ分析, 土木学会全国大会第65回年次学術講演会プログラム, CD-ROM
13		高木元也(2010)低層住宅建築工事におけるヒューマンエラー防止対策, 第43回安全工学研究発表会, p.163-164
14	総説ほか(査読有無を問わず)	島田行恭(2010)化学工学年鑑2010 (14.2 安全技術), 化学工学, Vol.74, No.10, p.607-608
15	著書・単行本	高木元也(2010)建設業実務の手引き追録第268号, 269号, 大成出版社
16	その他の専門家向け出版物	梅崎重夫, 濱島京子(2010)ICTを活用した安全衛生管理システム構築の手引き, 労働安全衛生総合研究所安全資料SD-No.24(2009), 89p
17		梅崎重夫(2010)機械安全の国際標準化と労働安全分野での対応, 労働安全の国際標準化とリスク低減特集号, 電気評論 Vol.95, No.5, p.9-13
18		梅崎重夫, 濱島京子(2010)ICTを活用した安全衛生管理システム構築の手引き, 実務&展望, Vol.43, No.4, p.35-42
19		清水尚憲(2010)残留リスクについての使用上の情報提供, ボイラ研究, Vol.(360, p.24-28
20		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(04) 前提条件となる「制限の決定」と「危険源・危険状態のリストアップ」(1), 安全と健康, Vol. 61, No.4, p.351-353
21		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(05) 前提条件となる「制限の決定」と「危険源・危険状態のリストアップ」(1), 安全と健康, Vol. 61, No.5, p.461-463
22		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(06) 食品機械を対象とした危険源・危険状態のリストアップ, 安全と健康, Vol. 61, No.6, p.566-568
23		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(07) リスクの見積り・評価手法(1), 安全と健康, Vol. 61, No.7, p.670-672
24		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(08) リスクの見積り・評価手法(2), 安全と健康, Vol. 61, No.8, p.774-776
25		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(09) 設計・製造者が行う保護方策の適用手順と留意点, 安全と健康, Vol. 61, No.9, p.878-880
26		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(10) 保護方策策定時の留意点と代表的な保護方策, 安全と健康, Vol. 61, No.10, p.982-984
27		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(11) 安全防護等の選択方法と制御システム安全関連部の安全性能検証, 安全と健康, Vol. 61, No.11, p.1086-1088
28		島田行恭 (2010)化学プラントの安全管理～現状の課題と具体的対策～, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.985, p.6-21
29		島田行恭 (2010)リスク低減対策I, 化学物質リスクアセスメント専門研修(爆発・火災防止コース)テキスト, 中央労働災害防止協会, 18p
30		島田行恭(2010)化学プラントでのリスクアセスメント手法, 化学物質リスクアセスメント専門研修(爆発・火災防止コース)テキスト, 中央労働災害防止協会, 30p
31		高木元也(2010)立木の伐採・伐倒作業等による死亡災害51事例の分析, 林材安全, No.734, p.2-7
32		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第6回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その6, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.984, p.38-46
33		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第7回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その1, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.986, p.36-43
34		高木元也(2010)中小建設業者を対象としたリスクマネジメント推進アクションプログラム, 安全衛生コンサルタント, Vol.30, No.94, p.43-49
35		高木元也(2010)移動式クレーンの転倒事故の背景と防止対策, クレーン, Vol.48, No.7, p.20-27
36		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第8回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その2, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.988, p.40-47
37		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第9回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その3, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.990, p.42-50
38		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第10回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その4, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.992, p.38-45
39		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第11回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その5, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.994, p.50-57

災害多発分野におけるリスクマネジメント技術の高度化と実用化に関する研究

40		高木元也(2010)中小・中堅建設業者のリスクアセスメント支援 土木・建築工事における各種作業別の労働災害データ分析, 全建ジャーナル, Vol.49, No.584, p.15-25
41		高木元也(2010)”ローコスト時代”を乗り切るためのヒューマンエラー対策「設備の本質安全化や安全教育の徹底でエラーを抑制し安全文化の醸成を!」, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.991, p.20-31
42		高木元也(2010)不安全行動の事故直結を防ぐ抜本策, 日経コンストラクション, No.502, p.46-49
43		高木元也(2010)なぜ起きる? 移動式クレーンの転倒事故～その背景と防止対策について～, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.995, p.6-17
44		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第12回リスク適正評価支援ツール 建築工事編特に重篤度が高い作業その6, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.996, p.44-51
45		高木元也(2010)建設現場における労働災害損失コストの計測, 建築コスト研究, Vol.18, No.4, p.33-36
46		高木元也(2011)作業別にみた建設現場の頻発労働災害とヒューマンエラー対策, そら, Vol.5, No.23, p.7-15
47		高木元也(2011)林業におけるヒューマンエラー防止対策～安全のルールを守る雰囲気づくりが事故防止には大切～, 林材安全, No.743, p.6-11
48		高木元也(2011)中小建設業者のリスク適正評価支援のための各種作業等別労働災害データ分析, 建災防ちば, No.108, p.12-13
49		高木元也(2011)現場の安全対策 安全ルールを守る雰囲気作りと「死角」をなくすことから, 電気と工事, Vol.51, No.2, p.26-30
50	特許の出願取得	凌元錦, 島田行恭, 北島禎二, 仲勇治, 朱正華(2010)プロセスリスクアセスメント支援装置, 特願2010-244439
51	その他(表彰/報道等)	高木元也(2010)元請け所長ら書類送検 クレーン横転業過致死傷容疑, 毎日新聞 平成22年10月19日付
52		高木元也(2010)ヒューマンエラー防止対策ガイドブックを発表, NETIB NEWS, 平成22年7月21日付
53		高木元也(2010)労働災害防止へガイドブック, 原因分析や対策提示, BUILDER NET, 平成22年7月21日付
54		高木元也(2010)工務店の現場を考える～安全な現場のために「ヒューマンエラー防止対策ガイドブック」～, 新建ハウジング, 平成22年8月10日付
55		高木元也(2010)転換期の建設業界 第2部ゼロ災への道のり②リスクアセス, 電気新聞, 平成22年11月4日付
56		高木元也(2010)転換期の建設業界 第2部ゼロ災への道のり③コミュニケーション, 電気新聞, 平成22年11月5日付
平成21年度(2009年)		
1	原著論文	濱島京子, 梅崎重夫(2009)情報伝達と変更管理に着目した産業機械の労働災害分析手法の提案, 労働安全衛生研究, Vol.2, No.1, p.33-44
2		梅崎重夫, 濱島京子, 清水尚憲(2009)機械安全で使用する安全情報と労働安全衛生マネジメントシステムで使用するリスク関連情報の基本特性の比較, 土木学会安全問題研究論文集, Vol.4, p.17-22
3		島田行恭, 北島禎二, 武田和宏, 淵野哲郎, 仲勇治(2009)労働災害防止を目的とした化学プラント安全運転管理業務モデリングー運転管理業務のための参照モデルー, 労働安全衛生研究, Vol.2, No.2, p.91-98
4		高木元也(2010)中小建設業者のリスク適正評価支援のための各種作業等別労働災害データ分析, 労働安全衛生研究, Vol.3, No.1, p.17-26
5	研究所出版物	高木元也(2009), ヒューマンエラー防止対策ガイドブック 低層住宅建築工事, 社団法人住宅生産団体連合会との共同出版
6	国内外の研究集会発表	梅崎重夫, 濱島京子, 清水尚憲(2009)労働安全でのリスクベースドアプローチ, 日本機械学会2009年度年次大会, p.348-349
7		梅崎重夫, 清水尚憲, 濱島京子(2009)人間機械作業システムを対象としたリスクの定量的評価手法の提案, Vol.109, No.43, p.13-16
8		宮川高志, 梅崎重夫, 三平律雄(2009)安全に関する対投資効果の評価指標の提案, 日本機械学会第18回交通・物流部門大会, p.207-210.
9		梅崎重夫, 濱島京子, 清水尚憲(2009)人間機械作業システムにおける機械安全と安全管理の評価手法の提案, 安全工学シンポジウム2009, p.274-277

10		梅崎重夫, 清水尚憲, 濱島京子(2009)機械安全分野におけるリスクアセスメント技術の動向と安全設計支援システムの開発, 安衛研重点研究シンポジウム
11		梅崎重夫(2009)機械安全と労働災害防止に関するリスクマネジメント, 2009産業安全対策シンポジウム, 日本プラントメンテナンス協会他, S5-1-1-17
12		梅崎重夫(2009)機械安全・設備安全・労働安全の統合運用にあたっての諸問題について, 機械安全分野における安全専門家育成と有効活用並びに機械設備の安全確保に関するシンポジウム, 日本機械工業連合会
13		島田行恭, 北島禎二, 淵野哲郎, 仲勇治(2009)化学プラントのライフサイクルにわたるHSE業務の分析と整理, 安全工学シンポジウム2009, 9-3, p.390-393
14		島田行恭, 北島禎二, 武田和宏, 淵野哲郎, 仲勇治(2009)化学プラント安全のための運転管理業務モデルの構築, 第42回安全工学研究発表会, 21, p.59-62
15		島田行恭(2010) (特別講演)化学プラントの安全管理 ~現状の課題と具体的な取り組み~, 市原市石油コンビナート等特別防災区域協議会特定事業所等防災担当者講習会
16		島田行恭(2009)化学プロセス産業における労働災害防止のためのHSE管理業務の整理, 第14回産業医科大学産業生態化学研究所, 独立行政法人労働安全衛生総合研究所研究交流会
17		高木元也(2009)低層住宅建築工事におけるリスクマネジメント推進アクションプログラムの策定, 2009安全工学シンポジウム, p.414-415
18		高木元也(2009)中小建設業者におけるリスクアセスメント推進上の課題と対応策, 電子情報通信学会安全性研究会, p.1-4
19		高木元也(2009)低層住宅建築工事におけるリスクマネジメント推進アクションプログラムの策定, 2009日本建築学会大会, CD-ROM
20		高木元也, 中村隆宏(2009)中小建設業におけるリスクマネジメント推進アクションプログラムの具体的方策推進, 第64回土木学会年次学術講演会, CD-ROM
21		高木元也, 中村隆宏(2009)中小建設業者におけるリスクアセスメント推進上の課題と対応策, 第42回安全工学研究発表会, p.63-66
22	総説ほか(査読有無を問わず)	島田行恭(2009)化学工学年鑑2009 (14.2 安全技術), 化学工学, Vol.73, No.10, p.539-540
23		高木元也, 中村隆宏(2009)中小建設業者の自主的安全活動促進のための行動指針, 安全工学Vol.48 No.2(2009), p.109-117
24	著書・単行本	高木元也(2009)建設業実務の手引き追録第257・258合併号, 大成出版社
25		高木元也(2009)建設現場のリスク適正評価ガイド【重篤度評価編】, 労働調査会
26	その他の専門家向け出版物	梅崎重夫(2009)労働安全の観点からの機械安全国際規格ISO14121の意義と考察, 安全工学, Vol.48, No.6, p.368-374
27		梅崎重夫(2009)機械安全国際規格の背後にある安全設計思想の分析とリスク低減戦略, 精密工学会誌, Vol.75, No.9, p.1050-1053
28		梅崎重夫(2010)制御システム以外に対する本質的安全設計方策と安全防護物の適用に基づくリスク低減, ボイラ研究 (359), p.31-36
29		梅崎重夫, 清水尚憲(2009)機械安全のあるべき姿とはー残留リスク明確化をー, 安全スタッフ, No.2072
30		濱島京子, 梅崎重夫(2009)ITを活用した安全管理手法の概要と労働災害防止対策における位置づけ, 電気評論 Vol.94 No.5, p.29-34
31		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(01)国際的動向から見たリスクアセスメントの必要性, 安全と健康, Vol. 61, No.1, p.46-48
32		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(02) 国際安全規格から見た安全の考え方とリスクの概念について, 安全と健康, Vol. 61, No.2, p.150-152
33		清水尚憲(2010)こうして進める機械設備のリスクアセスメント(03) リスクアセスメントの進め方と留意点, 安全と健康, Vol. 61, No.3, p.250-252
34		清水尚憲(2009)小型移動式クレーンの作業を対象としたリスクアセスメント～リスクアセスメントの基礎知識と進め方のポイント～, 安全衛生コンサルタント, Vol.29, No.92, p.16-27
35		島田行恭(2009) RBPS (Risk Based Process Safety)の紹介, 化学工学, Vol.73, No.4, p.202
36		島田行恭(2009)爆発・火災防止のための化学物質リスクアセスメント研修 (第8章)爆発・火災防止のためのリスクアセスメント手法と実施例I, 中央労働災害防止協会, p.129-162
37		中村隆宏(2009)産業安全とヒューマンファクター, Jitsu・Ten 実務&展望, No.247, p.49-55

38		高木元也(2009)中小・中堅建設業者におけるリスクマネジメント推進のためのアクションプログラムの開発・普及, 全建ジャーナル, Vol.48 No.7 p.20-27
39		高木元也(2009)中小建設業者に対するリスク適正評価支援ツール～特に重篤度が高い作業の抽出～, 建設オピニオン, Vol.16, No.7, p.30-36
40		高木元也(2009)リスクアセスメント導入期における建設業と他産業の比較, 労働経済春秋, 2009年Vol.2, p.59-64
41		高木元也(2009), 中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第1回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その1, 労働安全衛生広報, Vol.41, No.974, p.14-21
42		高木元也(2009)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第2回リスク適正評価支援ツール土木工事編特に重篤度が高い作業その2, 労働安全衛生広報, Vol.41, No.976, p.38-45
43		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第3回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その3, 労働安全衛生広報, Vol.41, No.978, p.40-47
44		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第4回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その4, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.980, p.40-47
45		高木元也(2010)中小建設業者のためのリスク適正評価ガイド第5回リスク適正評価支援の必要性和土木工事編特に重篤度が高い作業その5, 労働安全衛生広報, Vol.42, No.982, p.42-52
46	その他(表彰/報道等)	高木元也(2010)特報首都圏「なぜ起きる、クレーン事故」, NHK, 2010年1月22日19:30～19:55放映
47		中村隆宏(2009)安全・安心を求めてーヒューマン・エラーの本質ー, 産経新聞, 2009年12月16日付
48		高木元也(2009)低層住宅建築工事高年齢者の作業モデル開発へ, 労働新聞, 2009年6月22日付
49		高木元也(2009)事故抑制へ行動計画, 住宅産業新聞, 2009年6月17日付
50		高木元也(2009)労災防止へアクションプログラム, 週刊住宅, 2009年6月10日付
51		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第1回建設業は労働災害が多い業種, 建通新聞, 2009年8月28日付東京版他
52		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第2回安全にかかわる現場ニーズをくみ取る, 建通新聞, 2009年9月4日付東京版他
53		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第3回自覚から始まるヒューマンエラー対策, 建通新聞, 2009年9月11日付東京版他
54		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第4回「エラーは起こる」を前提に対策を, 建通新聞, 2009年9月18日付東京版他
55		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第5回中小建設業者のリスクアセスメント先進事例, 建通新聞, 2009年9月25日付東京版他
56		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第6回中小建設業者のリスクアセス推進上の課題, 建通新聞, 2009年10月2日付東京版他
57		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第7回土木工事の死亡災害にみる特に重篤度が高い作業, 建通新聞, 2009年10月9日付東京版他
58		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第8回土木工事の死亡災害「立木伐採」でも多い, 建通新聞, 2009年10月16日付東京版他
59		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第9回土木工事の荷上げ・荷下ろし作業死亡者は3年間で48人, 建通新聞, 2009年10月23日付東京版他
60		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第10回建築工事の死亡災害 建物解体作業が最多, 建通新聞, 2009年10月30日付東京版他
61		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第11回建築工事の死亡災害にみる特に重篤度が高い作業(2)クレーン・ドラグショベルの荷上げ・荷下ろし, 建通新聞, 2009年11月6日付東京版他
62		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第12回建築工事の死亡災害にみる特に重篤度が高い作業(3)屋根取付・撤去等作業など, 建通新聞, 2009年11月13日付東京版他
63		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第13回「事故」が起これば多大な企業損失に 日々の安全活動が経営に直結, 建通新聞, 2009年11月20日付東京版他
64		高木元也(2009)これからの建設現場の安全を考える第14回リフォーム工事特有災害 最多は「屋根からの墜落」, 建通新聞, 2009年11月27日付東京版他

65		高木元也(2009), これからの建設現場の安全を考える第15回建設業の今後の取り組みの在り方 本質安全化とヒューマンエラー対策を一体で推進, 建通新聞2009年12月4日付東京版他
平成20年度(2008年)		
1	原著論文	梅崎重夫, 清水尚憲, 濱島京子他(2008)統合生産システム(IMS)におけるリスク低減戦略の基礎的考察, 労働安全衛生研究, Vol.1, No.3, p.219-229
2		濱島京子, 梅崎重夫(2008)ITを活用した安全管理手法の開発ー安全要求事項抽出の容易化に配慮したシステム設計ガイドの提案ー, 労働安全衛生研究, Vol.1, No.2, p.119-130
3		梅崎重夫, 清水尚憲, 濱島京子(2008)人間機械協調システムにおけるリスク低減戦略の基礎的考察ー統合生産システム(IMS)と土木建築構造物の自動施工システムに共通するリスク低減戦略ー, 土木学会安全問題研究論文集, p.11-16
4		高木元也, 嘉納成男(2008)建設業における中小企業の安全意識向上に資する労働災害損失額の計測手法の構築に関する研究, 労働安全衛生総合研究, Vol.1, p.9-16
5		高木元也, 中村隆宏(2008)専門工事業団体におけるリスクアセスメント等安全活動支援の実態と課題, 土木学会安全問題研究論文集, Vol.3, p.161-166
6	研究所出版物	高木元也(2008)低層住宅建築工事におけるリスクマネジメント推進アクションプログラム, 社団法人住宅生産団体連合会との共同出版
7	国内外の研究集会発表	宮川高志, 梅崎重夫, 三平律雄(2008)SIL3に対応した安全化フレキシブル統合生産システム, 日本機械学会化学機械と安全部門研究発表講演会2008
8		梅崎重夫, 清水尚憲, 濱島京子(2008)統合生産システム(IMS)におけるリスク低減戦略の基礎的考察, 日本機械学会茨城講演会
9		梅崎重夫(2008)リスクアセスメントの意義ー機械安全と労働安全の連携を考慮したリスクマネジメント戦略の提案ー, 日本機械学会リスクアセスメント講演会
10		梅崎重夫, 濱島京子, 清水尚憲(2008)人間機械作業システムを対象としたリスクの定量的評価手法の提案, 電子情報通信学会誌技術研究報告SSS2009-4, p.13-16
11		梅崎重夫, 濱島京子, 清水尚憲(2008)人間機械作業システムにおける機械安全と安全管理の評価手法の提案, 安全工学シンポジウム2008, p.274-277
12		濱島京子, 梅崎重夫(2009)ITを活用した安全管理手法の検討ー人間機械作業システムにおける新しいフレームワークの提案ー, 電子情報通信学会技術研究報告. Vol.107, No.557, p.1-4
13		Shimada (2008) Reference Model of Safety Operation Management for Preventing Industrial Accident in Chemical Processes, International Symposium on Industrial Safety and Health, ISISH2008, p.54-60
14		熊崎美枝子, 中村隆宏, 島田行恭, 高木元也(2008)リスクマネジメントにおける危険源洗い出しに関する検討, 安全工学シンポジウム2008, 7-1, p.217-218
15		島田行恭, 熊崎美枝子, 北島禎二(2008)化学プラントの安全運転管理のためのリファレンスモデル構築, 安全工学シンポジウム2008, 7-2, p.219-222
16		島田行恭, 北島禎二(2008) (招待講演)プラントライフサイクルにわたるプロセス安全管理の体系化, 化学工学会第40回秋季大会, H105
17		島田行恭(2008) (基調講演)プラントライフサイクルにわたるプロセス安全管理フレームワークの構築, (株)山武MainSTEP2008ユーザ会
18		島田行恭, 北島禎二(2008) HSE業務を考慮したプロセス運転管理業務リファレンスモデルの構築, 第41回安全工学研究発表会, 75, p.217-220
19		島田行恭(2009) (依頼講演)新しいプロセス安全管理のフレームワーク構築の取り組み, 化学工学会第74年会, S-1, XB113, p.3-4
20		高木元也, 中村隆宏(2008)専門工事業団体におけるリスクアセスメント等安全活動支援の実態と課題, 土木学会安全問題研究討論会, p.161-166
21		高木元也, 梅崎重夫, 清水尚憲, 島田行恭, 中村隆宏, 濱島京子, 熊崎美枝子(2008)災害多発分野 建設、機械、化学)におけるリスクマネジメント推進に関わる産業横断的事例研究, 安全工学シンポジウム2008, p.325-326
22		高木元也, 中村隆宏(2008)中小建設業におけるリスクマネジメント推進のためのアクションプログラムの策定について, 電子情報通信学会安全性研究会, p.3-6
23		高木元也, 中村隆宏(2008)中小・中堅建設業者を対象としたリスクマネジメント推進アクションプログラムの策定, 土木学会全国大会年次学術講演会, CD-ROM
24		高木元也, 嘉納成男(2008)建設業における労働災害損失額計測システムの開発, 日本建築学会学術講演会, CD-ROM

災害多発分野におけるリスクマネジメント技術の高度化と実用化に関する研究

25		高木元也, 中村隆宏(2008)中小建設者を対象としたリスクマネジメント推進アクションプログラムの策定について, 第41回安全工学研究発表会, p.63-66
26		高木元也, 中村隆宏(2008)中小建設者を対象としたリスクマネジメント推進アクションプログラムの策定, 土木学会第26回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会, p.63-66
27	総説ほか(査読有無を問わず)	島田行恭(2008)化学工学年鑑2008 (14.2 安全技術), 化学工学, Vol.72, No.10, p.587-588
28	著書・単行本	高木元也(2008)建設業実務の手引き追録232・233合併号, 大成出版社
29		高木元也他(2008)建設産業事典, 鹿島出版会
30	その他の専門家向け出版物	梅崎重夫, 清水尚憲, 濱島京子(2008)機械のリスクアセスメントー機械安全と労働安全の連携を考慮したリスクマネジメント戦略の提案ー, 日本信頼性学会誌, Vol.30, No.8, p.692-702
31		梅崎重夫, 清水尚憲(2008)機械安全のあるべき姿とはー「残留リスク」明確化をー, 安全スタッフ, Vol.2072,p. 8-15
32		濱島京子, 梅崎重夫(2008)ITを活用した新しい安全管理手法に関する研究, 労働安全衛生広報, Vol.40, No.938, p.15-23
33		梅崎重夫, 濱島京子(2007)ITを活用した安全管理技術, 配管設計
34		島田行恭(2008)化学プラントのリスクアセスメント, 安全衛生コンサルタント, No.85, p.32-37
35		島田行恭(2008)化学プロセスの安全性評価と安全設計14, 15章, (経済産業省)「中小企業産学連携製造中核人材育成事業ー化学関連産業中核ケミカルエンジニア早期育成」安全エンジニアリングコース, 化学工学会
36		高木元也(2008)安全は企業経営成功の鍵ー第6回建設現場における労働災害損失額の計測, 建設業しんこう, Vol.32, No.11, p.44-49
37		高木元也(2008)安全は企業経営成功の鍵ー第7回労働安全衛生施策の方向と中心的担い手となる専門工事業者の安全活動推進上の課題, 建設業しんこう, Vol.33, No.1, p.26-32
38		高木元也(2008)ヒューマンエラーが起きてても事故は防ぐー原因を知って効果的な対策を打つー, 日経コンストラクション, No.447, p.74-75
39		高木元也(2008)中小建設業におけるリスク適正評価のための課題と対策, 建設オピニオン, Vol.15, No.7, p.28-34
40		高木元也(2008)建設業における労働災害損失額計測手法の構築について, 安全衛生コンサルタント, Vol.28, No.87, p.30-38
41		高木元也(2008)危険を甘く見る人への事故防止策ー情報技術やイラストの活用で不安全行動を起こさせないー, 日経コンストラクション, No.449, p.78-79
42		高木元也(2008)死亡災害の多い作業の認識が甘いー土木工事で意外にリスクの高い「トラックでの運搬」、「立ち木の伐採・伐倒」ー, 日経コンストラクション, No.453, p.70-71
43		中村隆宏(2008)危険体感教育ー導入・実施にあたっての留意点ー, 安全と健康, Vol.59, No.7, p.17-20
44		高木元也(2008)中小建設業におけるリスク適正評価に関する課題, 労働安全衛生広報, Vol.40, No.949, p.8-17
45		高木元也他(2008)中小建設者を対象としたリスクマネジメント推進アクションプログラムの策定について, 建設オピニオン, Vol.15, No.11, p.52-58
46		高木元也(2008)中小・中堅建設者を対象としたリスクマネジメント推進アクションプログラムー労働災害の更なる防止に向けた行動計画ー, 建設業しんこう, Vol.33, No.9, p.12-18
47		高木元也(2008)災害多発分野におけるリスクマネジメント推進に関わる産業横断的事例研究ー各業種で異なる「システムの良点」, 手法を他産業へ展開しRMに活かせ!ー, 労働安全衛生広報, Vol.41, No.954, p.32-35
48		高木元也(2008)これからの建設現場の安全を考える 第1回ヒューマンエラーをどう防ぐか, 建設Today, No.221, p.1-3
49		高木元也(2008)これからの建設現場の安全を考える 第2回リフォーム工事特有災害と安全対策, 建設Today, No.222, p.1-3
50		高木元也(2008)これからの建設現場の安全を考える 第3回労働災害損失額の計測, 建設Today, No.223, p.1-3
51		高木元也(2009)建設業におけるリスクアセスメントの現状とこれからの課題, そら, Vol.3, No.1, p.5-13
52		高木元也(2009)気をつけていますか?建設現場のKY(危険予知), ブルーブリッジ, Vol.32, p.7

53	その他（表彰／報道等）	高木元也(2008)労災減少へ行動指針～中堅・中小に自主性促進，建設通信新聞，2008年8月28日付
54		高木元也(2008)労災減めざし新行動計画～リスクアセス普及へツール開発，中小建設業の取り組み支援，労働新聞，2008年9月29日付
平成19年度(2007年)		
1	原著論文	中村隆宏(2007)安全教育における擬似的な危険体験の効果と課題，安全工学，Vol.16No.2，p.82-88
2		高木元也(2007)中小建設業者における労働災害リスクの適正評価に関する研究，土木学会安全問題研究論文集，Vol.2，p.155-160
3	研究所出版物	高木元也(2007)中小・中堅建設業者を対象としたリスクマネジメント推進のためのアクションプログラム，社団法人全国建設業協会との共同出版
4	国内外の研究集会発表	S.Umezaki and S.Shimizu(2007)Analysis of fatal accidents caused by industrial machines and the consideration on accident prevention strategy, SIAS
5		S.Hamajima, S.Umezaki and Y.Egawa(2007)Analysis of communication errors in fatal accident caused by industrial machines, SIAS
6		濱島京子，梅崎重夫，江川義之(2007)情報伝達不具合に関連した産業機械の労働災害分析，2007安全工学シンポジウム
7		濱島京子，梅崎重夫(2007)安全管理における情報の活用，日本機械学会 関東支部 第14期総会講演会，Vol.14
8		濱島京子，梅崎重夫(2007)ITを活用した安全管理手法の検討—人間機械作業システムにおける新しいフレームワークの提案—，電子情報通信学会技術研究報告，Vol.107，No.557
9		Shimada (2007) Approach to systematize the process safety management system in chemical industry of Japan, The 2nd Conference of Asian Occupational Safety & Health Research Institutes, p.114-117
10		島田行恭，熊崎美枝子，川端鋭憲(2007)労働災害防止の観点から見た化学プラントの安全管理問題，安全工学シンポジウム2007，3-6，p.173-176
11		湯浅公輔，熊崎美枝子，新井充(2007)化学物質の潜在危険性を考慮した化学プロセス安全評価法の提案，第40回安全工学研究発表会，61，p.179-180
12		島田行恭(2007)（招待講演）プロセス安全管理の体系化 に向けての取り組み，化学工学会静岡化学工学懇話会第15回静岡フォーラム
13		島田行恭(2007)（招待講演）化学プロセス産業における安全管理のための統合化アプローチ，日本原子力学会秋の大会企画セッション「統合型知識マネジメント」
14		島田行恭(2007)独立防御階層設計に基づく安全ライフサイクルの実現，日本学術振興会プロセスシステム工学第143委員会講演
15		高木元也(2007)中小建設業者における労働災害リスクの適正評価に関する研究，土木学会安全問題研究討論会，p.155-160
16		高木元也(2007)リフォーム工事における危険性・有害性の特定について，安全工学シンポジウム2007，p.267-268
17		高木元也(2007)リフォーム工事におけるリスクアセスメント，日本建築学会学術講演会，CD-ROM
18		高木元也(2007)ドラグショベル作業における危険性・有害性の特定について，土木学会年次学術講演会，CD-ROM
19		高木元也，中村隆宏(2007)中小専門工事業者における自主的な安全活動の促進方策に関する事例研究，土木学会関東支部技術研究発表会，CD-ROM
20	総説ほか（査読有無を問わず）	島田行恭(2007)化学工学年鑑2007（7.4 統合化学），化学工学，Vol.71，No.10，p.674-675
21	著書・単行本	中村隆宏(2007)ヒューマンエラーはなぜ起こる～災害事例の有効活用と安全対策～，建設労働安全特別号
22		高木元也(2007)建設業実務の手引き追録第232・233合併号，大成出版社
23		高木元也他(2007)安全活動にカツを入れる本～建設現場をもっと”元気”にする方法，労働調査会

災害多発分野におけるリスクマネジメント技術の高度化と実用化に関する研究

24	報告書	若倉正英, 田村昌三, 高野研一, 仲勇治, 島田行恭, 他13名(2007)平成18年度原子力発電施設等安全性実証解析等(原子力発電施設等社会安全高度化)事業報告書, 平成18年度経済産業省委託事業 安全工学会受託研究)
25	その他の専門家向け出版物	島田行恭(2007)安全を当然にするには, 安全工学, Vol.46, No.6, p.376
26		中村隆宏(2007)安全教育見直しのポイント, 産業訓練, Vol.53No.621
27		高木元也(2007)安全は企業経営成功の鍵～第1回中小建設業におけるリスクマネジメント手法の導入推進上の課題～, 建設業しんこう, Vol.32, No. 1, p.30-34
28		高木元也(2007)ヒューマンエラーをどう防ぐか, Ohm Bulletin, Vol.43春号, p.8-9
29		高木元也(2007)安全は企業経営成功の鍵～第2回中小建設業者に効果的なリスクアセスメント教育～, 建設業しんこう, Vol.32, No.3, p.30-34
30		高木元也(2007)安全は企業経営成功の鍵～第3回建設現場のヒューマンエラー対策を考える(前編)～, 建設業しんこう, Vol.32, No.4, p.46-49
31		高木元也(2007)安全は企業経営成功の鍵～第4回建設現場のヒューマンエラー対策を考える(後編)～, 建設業しんこう, Vol.32, No.5, p.20-23
32		高木元也(2007)高齢者の心身機能低下に注意～照明や足場の改善で墜落やつまづき災害を防ぐ～, 日経コンストラクション, 平成19年11月9日号, p.44-45
33		高木元也(2007)安全は企業経営成功の鍵～第5回リフォーム工事における典型的な労働災害と安全対策上の課題～, 建設業しんこう, Vol.32, No.6, p.16-20
34		高木元也(2007)建機を凶器にしないためには～危険の芽を摘む努力を怠れば事故は減らない～, 日経コンストラクション, 平成19年12月28日号, p.47-48
35		高木元也(2007)中小建設業における労働災害に係るリスクマネジメントの実態, 建設オピニオン, 第14巻2号, p.48-51
36		高木元也(2007)中小建設業における労働災害に係るリスクマネジメント推進上の課題, 建設オピニオン, 第14巻3号, p.42-46
平成18年度(2006年)		
1	原著論文	梅崎重夫, 清水尚憲(2006), 産業機械の災害防止対策に関する基礎的考察, 安全工学 vol.45 No.4
2		高木元也, 中村隆宏(2006)中小建設業者の建設現場における危険・有害要因の特定化に関する事例研究, 土木学会建設マネジメント研究論文集, Vol.13, p.153-160
3	国内外の研究集会発表	梅崎重夫, 濱島京子, 清水尚憲, 江川義之(2007)産業現場におけるリスク関連情報の活用方法に関する基礎的考察 -リスク関連情報の活用に着目した作業者支援システムの提案-, IIP2007 情報・知能精密機器部門講演会予稿集, 日本機械学会
4		濱島京子, 梅崎重夫, 江川義之(2007)作業者間の情報伝達に関連するリスク要因の分析と作業者間情報伝達システムの考察, 日本機械学会関東支部第13期講演会
5		島田行恭, 川端鋭憲(2006) (招待講演)プラント安全管理のフレームワーク構築に関する研究, 化学工学会第38回秋季大会, T104
6		武田和宏, 島田行恭, 淵野哲郎, 山室昇(2006) (招待講演)化学プロセス産業における統合化アプローチ, 化学工学会第38回秋季大会, S204
7		島田行恭(2006)リスクをベースとした化学プラントの安全管理(招待講演), 静電気学会障災害研究会
8		中村隆宏(2006)安全教育における擬似的な危険体験の効果と課題, 安全工学研究発表会
9		高木元也, 中村隆宏(2006)中小建設業者の建設現場における危険・有害要因の特定化に関する事例研究, 土木学会建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会, p.153-160
10		高木元也, 中村隆宏(2006)建設現場における危険・有害要因の特定化に関わる基礎研究, 安全工学シンポジウム2006
11		高木元也(2006)中小建設業者を対象としたリスクアセスメント教育のあり方について, 仮設工学研究フォーラム, p.63-66
12		高木元也(2007)中小建設業者における労働災害の見積りについて, 土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM
13		中村隆宏(2006)建設労働災害の発生原因としてのヒューマンエラー防止に関する研究, 建設業労働災害防止協会大阪府支部岸和田分科会主催 夏期研修会特別講演
14		中村隆宏(2006, ヒューマンエラー再考, 中央労働災害防止協会主催 第65回全国産業安全衛生大会安全部会ヒューマンファクター分科会

15		中村隆宏(2007)ヒューマンエラー再考, 日本能率協会2007産業安全対策シンポジウム
16		梅崎重夫(2006)機械安全設計のポイント, 雇用・能力開発機構 高度職業能力開発促進センター
17		梅崎重夫 (2006)機械の安全と予防, 神奈川県産業総合研究所
18		梅崎重夫 (2006)自動化システム設計における機械安全, 職業訓練指導員研修, 職業能力開発大学校
19		梅崎重夫 (2006)フェールセーフ, 産業安全(I)専門研修, 労働研修所
20	総説ほか(査読有無を問わず)	梅崎重夫他 (2006)産業用ロボットの安全性, 電子情報通信学会誌, Vol.88, No.5 p.316-322
21		島田行恭(2006)化学工学年鑑2006 (7.4 統合化学), 化学工学, Vol.70, No.10, p.546-547
22		島田行恭 (2006)化学工学年鑑2006 (14.2 安全技術), 化学工学, Vol.70, No.10, p. 589-590
23	著書・単行本	島田行恭, 武田和宏, 瀧野哲郎, 山室昇(2006)統合学入門-蛸壺型組織からの脱却 第7章 化学プロセス産業における統合化アプローチ, 工業調査会, pp.171-197
24		高木元也他(2006)建設業実務の手引き(全7巻), 大成出版社
25		高木元也他(2006)建設現場技術者のための施工と管理実践ノウハウ, オーム社
26		高木元也他(2006)建設業・現場代理人のコミュニケーション養成読本, 日本コンサルタントグループ
27		高木元也, 富田一, 崔 光石他(2006)災害防止のための現場安全読本, オーム社
28	その他の専門家向け出版物	中村隆宏(2006)ヒューマンエラーによる災害が起きない現場づくり, 建設労務安全, 平成18年8月号, p.8-15
29		高木元也(2006)建設業におけるヒューマンエラー防止対策, 建設の施工企画, Vol.675, p.6-11
30		高木元也(2006)建設現場におけるリスクマネジメントの現状と課題, セーフティエンジニアリング, Vol.141, p.1-6
31		高木元也(2006)リフォーム工事における安全対策を考える, 労働安全衛生広報, 平成18年No.38, p.8-15
32		高木元也(2006)「基本軽視」による事故を防ぐために～知識のギャップを踏まえて危ない理由を説明～, 日経コンストラクション, 平成18年12月22日号, p.45-46